

北陸営業所地鎮祭

7月11日10時より、地鎮祭が行われました。小雨模様でしたが、大雨になることはなく、無事、雨降って地固まる、といった感じで終了。8月の着工が待ち遠しくなってきました。北陸営業所では、引っ越しの準備に取り掛かり、不要物の処分などを開始。本社の引越しでもそうでしたが、歴史を重ねる中で、所内には不要物がかなりあります。転居はそれらを片付ける良い機会になるのですが、理想は、常に片付いた状態にあることですので、他の営業所でも不要物が倉庫や書庫を埋めているというようなことがないように日々片付け処分を励行してください。



岐阜営業所転居用地購入へ

岐阜営業所転居用地の購入契約を7月26日に行いました。当社への引き渡しは、土地が2区画で所有者がお二方おられ、それぞれ8月末と9月初めの予定です。転居先は、同じ各務原市内で、現在の場所より岐阜市内よりになります。368坪の土地は、かなり広くなり、これから計画、建設を行います。デール店舗、倉庫、事務所、危険物倉庫が備わった事務所になる予定です。春日井事業所が都市計画により、駅周辺の道路整備がなされ当社敷地が数年先に狭くなることが予想されますので、防水工事などを中心に施工体制、倉庫、産廃置場などを補う役割も期待されます。



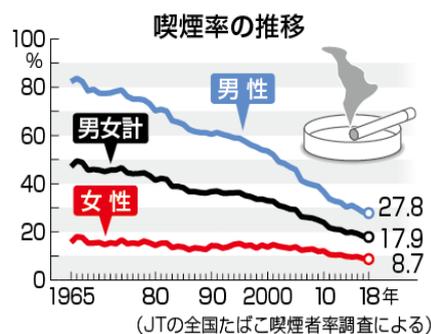
旧本社 3号館売却

旧本社の総務部と経理部があった3号館を売却することになりました。

来年入社社員の内定状況

2020年4月入社の大卒新卒社員の内定者が、8人決まっています。現在は、学校が夏休みに入り、高校卒の新卒社員の採用活動を行っています。多くの若い方が会社見学などに来てもらえれば、嬉しいのですが。

喫煙率について



日本たばこ産業(JT)が、前身の専売公社時代の1965年から毎年続けてきた「全国たばこ喫煙者率調査」による結果は、上表のとおりです。同調査によると、喫煙率のピークは66年の49.4%で、男性に限れば83.7%に上っていました。その後は健康への意識が高まって徐々に低下。最後の調査(現在は個人情報保護により調査の信頼性が保てなくなったため中止されました)となった2018年は男性27.8%、女性8.7%、男女計17.9%と、いずれも過去最低になっています。

これを踏まえて、当社の喫煙率は、以下のとおりです。

男性 48.2% 女性 14.3%

男女計 39.7%

男女比率や年齢構成が、違うわけですが、数字的には、男女とも平成14年頃の日本全体結果とほぼ同じです。17年遅れです。当社は、どちらかといえば、合理的な思想で先取りしているようなイメージがあるかもしれませんが、喫煙ということ、もしくは健康ということに関しては、かなり遅れていると言えます。今後も、間違いなく、喫煙率は下がっていき、将来的には喫煙という行為が、ゼロになるのは時間の問題でしょう。喫煙者を明確に採用しないという会社も増えており、面倒くさい問題を招かないし、効率もいいわけですから当然の判断であり、当社は、ますます時代遅れになっていきそうです。すでに上場企業では、喫煙率が10%以下の会社が多く、それをゼロにしていこうという次元です。

春日事業所の改修

春日井事業所の外壁改修を8月6日より着工します。一部雨漏れをしているところもあり、足場をかけて修繕していきます。外壁材も保護のためクリアーの塗装をしていきます。東京のBW浅草橋ビルの大規模改修は、7月で完了し、大変きれいになりました。ここ数年何かと社屋に対し、投資が嵩んでいますね。

商業施設等の改修案件増加

今までは、あまり実績が多くなかった商業施設などの改修工事が増加しています。工事も大型化しており、工期、工程などの制約も多く、技術力や苦労も増えてきていますが着実に増加傾向です。最近の案件では、大手カラオケ店の全面改修、名古屋大須にある大手のリユース店や高級外車の販売店の新規リニューアル工事、大手企業社宅の改修、三河地区の有名なお寺、私立高校の改修、大手予備校の改修などがあります。また、外壁の診断、外壁や防水改修工事のニーズは依然として多く、引き合いを多くいただいています。また、大手企業の工場案件も新築、改修とも受注が決まっています。人手不足であり、施工体制を増強していくことは、大変困難な状況ですが、職人さん達からも選ばれ、また職人仲間のつながりというのがありますので、紹介などで人が集まってくるようになっていかないといけません。工事段取り、提案などの技術力がもちろん大切ですが、誠実な対応を心がけていくことが何よりも大切です。常に競争の中にあり、安くて良いものを納めていかないと受注につながらないわけですが、当社の担当者がお客様からも信頼され、職人さんたちからも信頼されていないといけません。それは、大変難しいことですが、だからそうした社員が会社の財産であり、当社の強みと言えます。技術的な知識は、もちろん大切ですが、人間としてこの人と一緒に仕事がしたいと思ってもらえるように、そこは、一生懸命努力しないと行けません。最近、お札になるということで、渋沢栄一さんが、注目を集めています。まさに「論語とそばん」という考え方であり、近江商人の「三方よし」という考え方を、日々のいろんな場面で、特に大変な時に、誠実にそうした対応ができるかで、その人に対する信頼が決まります。自分の周りに起きていることは、人のせいではなく、自分の責任ととらえ、誠実に対応していくには、人間的な強さも必要です。いろいろな経験をすること、そのためには積極的に挑戦すること、やはり本を

よく読み、歴史や人物などをよく知ることが人間としての幅を広げ、判断もぶれなくなっていくために大切と言われます。若い時からそうした習慣をつけることで、人生が変

わってきます。また、年齢の高い人は、死ぬ間際までそうした努力を続けることが、いつまでも若々しく、幸せな人生を送ることに繋がると言われています。



施工事例紹介

- 施工場所 愛知県名古屋市
- 工事名 KRビル 屋上防水工事
- 建物構造 RC造5階建
- 仕様 オルタック OSTW-3A 工法



1. 洗浄



2. 通期シート施工



3. トップコート施工

■ 担当 法人事業部 岐阜営業所 熊崎 太志

屋上階下へ雨漏れが多数発生しており、大変お困りになっている現場でした。既存防水下地は押さえコンクリートで部分的にモルタルの浮き、クラックが発生していたため、下地処理を行い、ウレタン防水通気緩衝にてご提案させていただきました。施工中は各階の入居者様への騒音、臭気等の配慮を徹底し、施工完了後、無事漏水も止まり大変喜んでいただきました。追加にてバルコニー防水、外壁のクラック補修のご依頼もいただきましたので、追加工事でもしっかりと施工を行い、満足していただきますよう努力いたします。

ちょっと一言

「夏の風物詩」



法人事業部 東海営業所
若杉 志織

皆さまお疲れ様です。
毎日暑い日が続いていますが体調崩されてないでしょうか？

さて、8月に入り、本格的な夏がやってきましたね。皆さん夏というと何を思い浮かべますか？私は夏の風物詩という花火を1番に思い浮かべます。ちょうど今の時期、全国各地で多くの花火大会が開催されていますね。

そんな花火大会の打ち上げ花火といえば、ひゅ〜ん…ドン！！という音とともに夜空に華が咲きます。

あの音が聞こえると、あ、どこかで花火かな！と思うのと同時に、夏だなって気分になりますが、私はこの、花火が咲く前のヒュ〜という音は花火玉が空気を切り裂いて空に上がっていくときに、自然に聞こえる音だと思っていました。

でも実は、この「ヒュー」という音は花火玉に付けられている「笛」の音だそうです。人工的につけている音でパイプに詰められた薬に点火すると音がでる仕組みになっています。そして、なぜ人工的にこの音がつけられたかという、見ている人達が、花火が咲く一瞬を見逃さないようにするため、そして見ている人達の期待感を煽るためだそうです。確かにこのヒュ〜って音を聞くと、わくわくと夜空を注目してしまいますよね。こういった仕掛けのおかげで目だけでなく、耳でも夏を感じられているのだなと思いました。なので、皆さんもこれから花火を見る機会があったら、そんな「音」にも少し注目して楽しんでもらえたらなと思います。

最後になりますが、まだまだ暑い日々が続くと思います。体調管理、そして熱中症対策等に充分気を付けながら日々頑張っていきたいと思います。

★Happy News★

お誕生おめでとうございます

★総務部 西田主任
男児誕生

